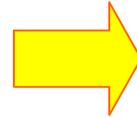


# 港湾行政の最近の 動向について

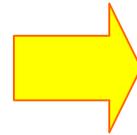
# 港湾施策の方向付け

## 1. 港湾法の改正



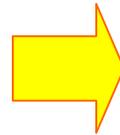
港湾の重点化と国と地方の役割の明確化、港湾相互間の連携の確保、環境保全の重視

## 2. 新世紀港湾 ビジョンの策定



港湾新生の道筋と未来のみなとづくりへのありかた

## 3. 港湾の基本方針 の変更



全国的な視点にたった港のグランドデザイン、港湾連携の方策等の明確化

# 新総合物流施策大綱のポイント

## 1. 目標

コストダウン

環境負荷の低減

## 2. 方向性のキーワード

国際競争力(国際物流拠点の機能強化 等)

社会的課題(地球温暖化問題への対応 等)

国民生活(既存インフラの耐震性向上 等)

# 都市再生プロジェクト

## (対象テーマと港湾施策)

国際競争力のある世界都市の実現

(首都圏ハブ機能強化プロジェクト)

持続発展可能な社会の構築

(大都市圏総合リサイクル拠点構築プロジェクト)

災害に強い都市構造の形成

(首都圏臨海部・防災機能強化プロジェクト)

活力ある都市活動の確保

(首都圏臨海部ルネッサンス)

等

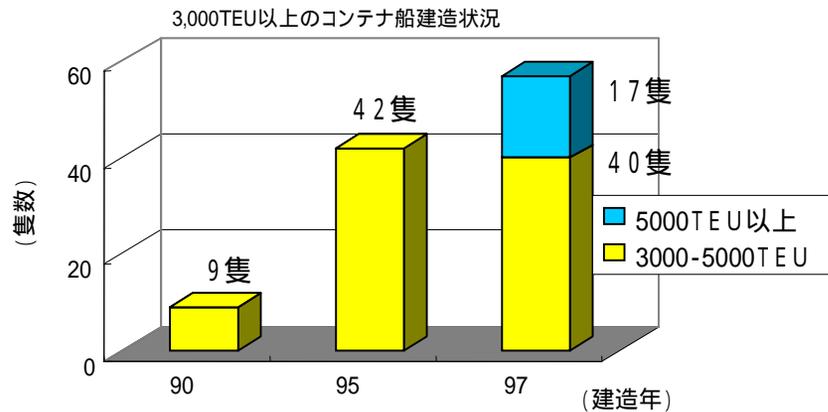
# 国際幹線航路及び中核・中核国際港湾における大水深コンテナターミナルの整備の必要性

中核国際港湾とは、東京湾、伊勢湾、大阪湾及び北部九州における港湾

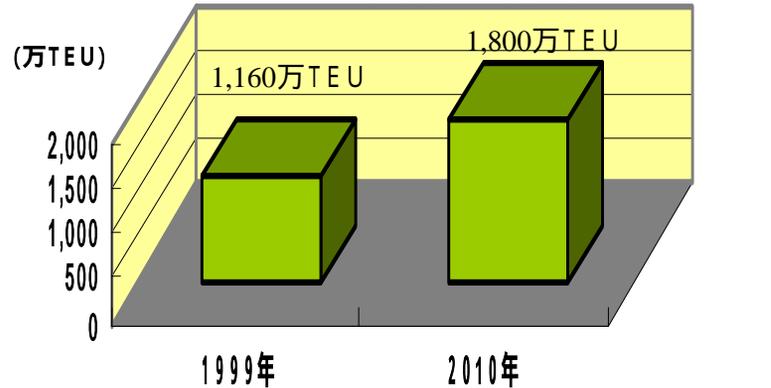
## － 港湾を取り巻く現況 －

### 国際海上物流の発展

#### コンテナ船の大型化が進展



#### 国際海上コンテナ貨物の増大



注) TEUとは、20フィートコンテナ換算の個数

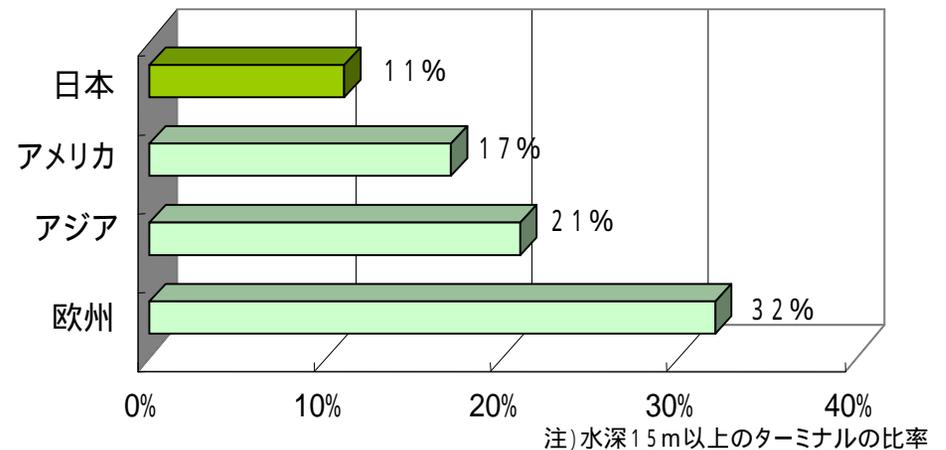
### 島国日本のボトルネック

#### 首都圏の海の玄関口が危ない!

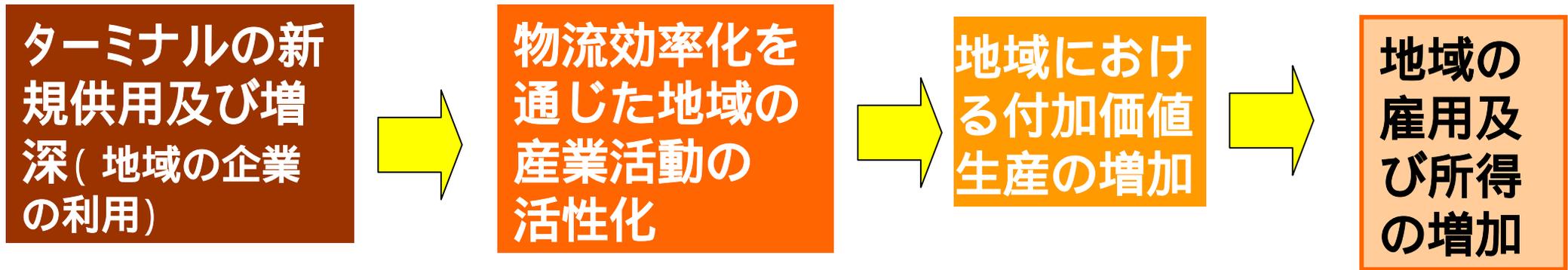
暗礁(第三海堡)により浦賀水道は東京湾の難所



#### コンテナターミナルの大水深化が遅延



# 多目的国際ターミナルの地域経済 活性化への連鎖

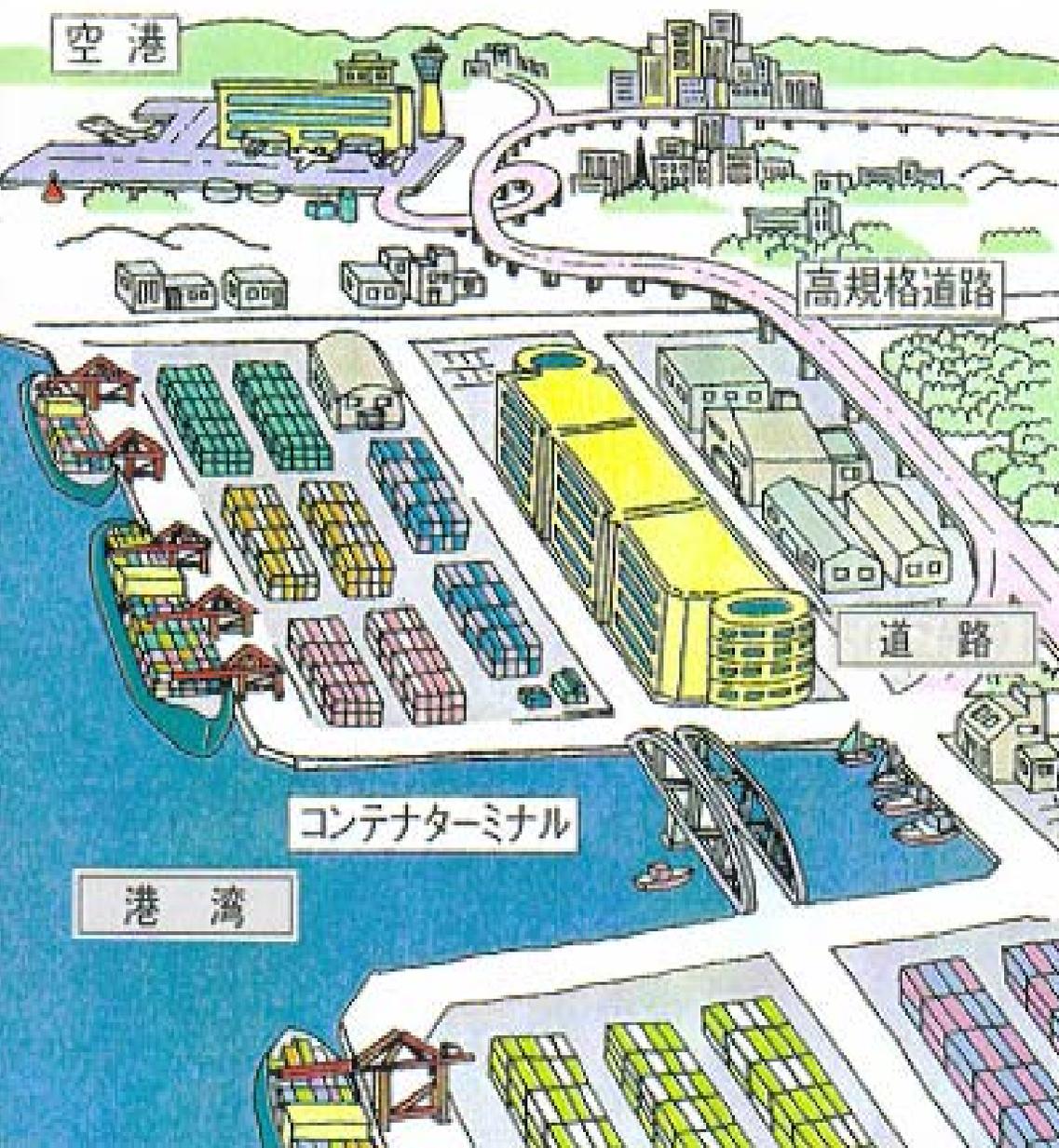


**港湾ストック 1,000 億円の増加は、我が国の  
GDP を約 2 兆円押し上げる効果を発揮！**

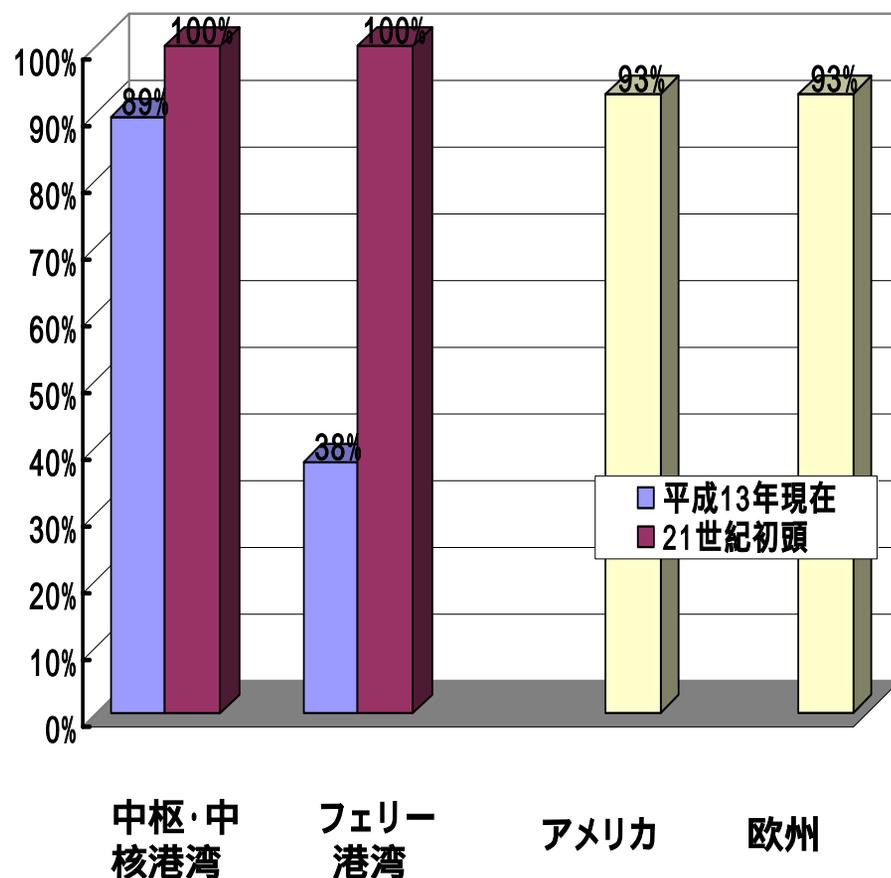
マクロ経済学及び計量経済学の手法を用いた筑波大学の推計結果  
(1970年～1993年のデータに基づく)

# マルチモーダル交通体系の整備

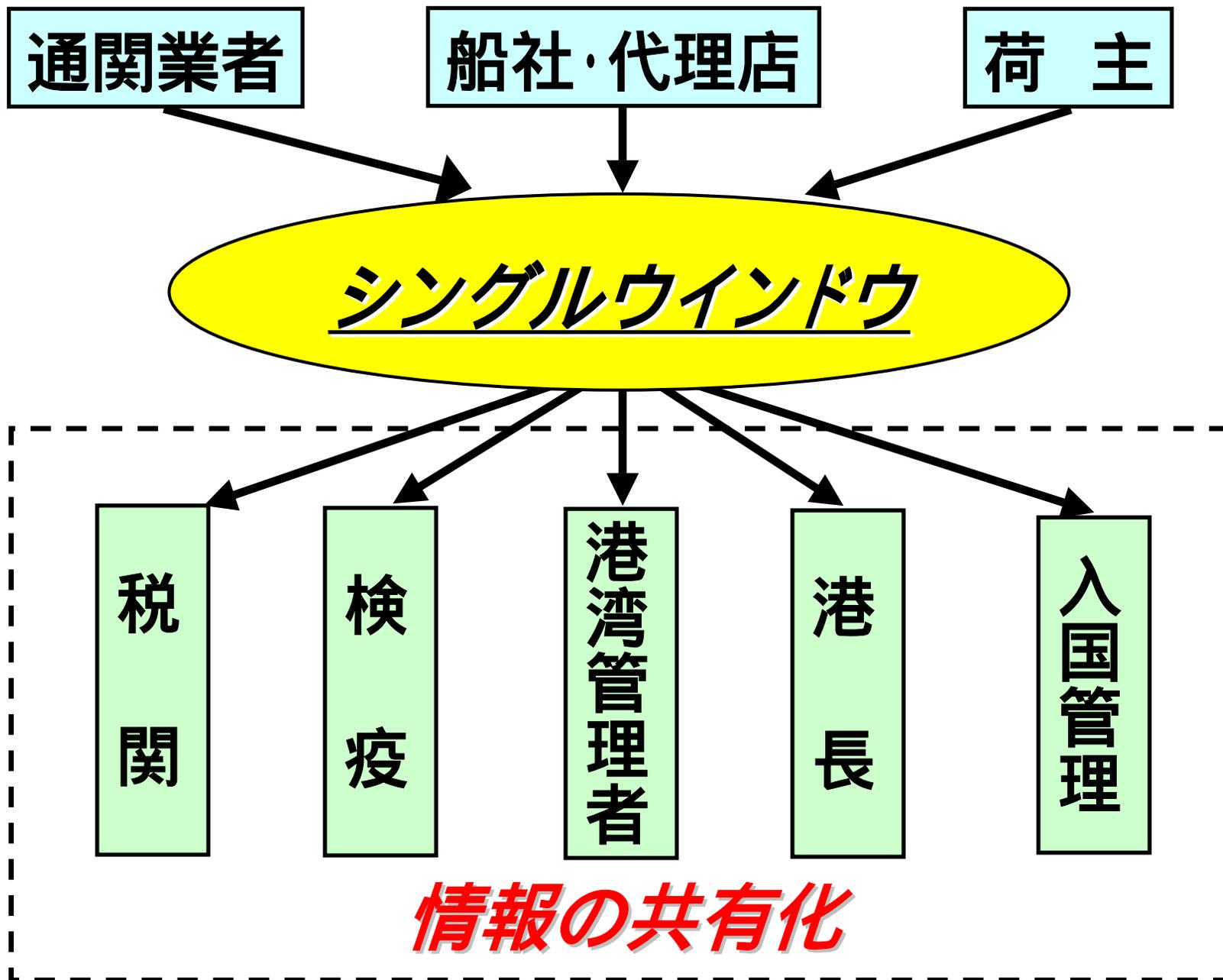
港湾・空港と内陸道路網の有機的な連絡の促進



港湾から自動車専用道路ICへ10分以内の連絡割合



# 港湾諸手続のワンストップ化と シングルウィンドウ化の推進



# 総合リサイクル物流ネットワークの理念

